

富山情報ビジネス専門学校 学 則

第 1 章 総 則

第 1 条（目的）

本校は、建学の精神に（別表 1）に則り、高潔な人間性を基礎とする豊かな教養と専門知識の修得に努め、変転する社会に貢献し得る人材の育成を目的とする。

第 2 条（名称）

本校は、富山情報ビジネス専門学校と呼称する。

2

第 3 条（所在地）

本校の所在地は富山県射水市三ケ 576 番地とする。

第 4 条（自己点検・評価）

1. 本校は、その教育における一層の充実を図り、本校の目的及び社会的使命を達成するため、本校における教育活動等の状況について自ら点検及び評価を行うものとする。
2. 前項の点検及び評価の実施に関し、必要な事項は別に定める。

第 2 章 課 程 及 び 定 員

第 5 条（課程、学科、修業年限、定員等）

本校の課程、学科及び修業年限並びに定員は次のとおりとする。

課程名	学科名	コース名	修業 年限	入学 定員	総定員	昼夜 の別	備考
工業専門課程	情報システム		2 年	40 人	80 人	昼間	
	建築・デザイン		2 年	20 人	40 人	昼間	
商業実務 専門課程	Web クリエイター		2 年	15 人	30 人	昼間	
	ホテル・ブライダル		2 年	15 人	30 人	昼間	
	医療事務		2 年	30 人	60 人	昼間	
	診療情報管理士研究		1 年	20 人	20 人	昼間	
	インターナショナルビジネス		2 年	20 人	40 人	昼間	
	情報ビジネス		2 年	15 人	30 人	昼間	
文化・教養 専門課程	公務員		1 年	10 人	10 人	昼間	
	日本語	1 年半課程	1.5 年	20 人	40 人	昼間	
		2 年課程	2 年	20 人	40 人	昼間	

第3章 学年・学期および休日

第6条（在籍年限）

各学科・各コースにおける在籍年限は前条の修業年限の倍を超えることはできない。
但し、日本語学科の在籍年限は修業年限とする。

第7条（学年）

学年は4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
但し、日本語学科1年半課程においては、1年次は10月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

第8条（学期）

学年を分けて次の2学期とする。
前 期：4月1日から 8月31日まで
後 期：9月1日から 3月31日まで
但し、日本語学科においては、
前 期：4月1日から 9月30日まで
後 期：10月1日から3月 31日まで
とする。

第9条（休日）

休日は次のとおりとする。
1. 日曜日および国民の祝日
2. 春期休暇：3月中旬から授業、学校行事等を勘案して校長が決定する
3. 夏期休暇：7月下旬から前項に準じて決定する
4. 冬期休暇：12月上旬から前々項に準じて決定する

第4章 学科課程・授業日数および卒業

第10条（履修課程）

本校の学科課程およびその履修科目ならびに付与する単位は別表2に定める。

第11条（履修方法）

1. 本校における各授業科目の単位数は、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成し、次の基準により単位数を計算するものとする。
 - (1) 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で、定める時間の授業をもって1単位とする。

- (2) 実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で、定める時間の授業をもって 1 単位とする。
2. 本校の 1 年間の授業日数は定期試験（前期期末および後期期末）等の日数を含め、30 週にわたる 150 日を原則とする。但し、日本語学科は前期 18 週、後期 18 週で 36 週（180 日）とする
3. 各授業科目の授業は 15 週にわたる期間を単位として行う。
- 但し、教育課程上特別の必要があると認められる場合は、一部変更することがある。

第 12 条（評価と単位認定）

1. 各授業科目の単位評価は 100 点満点とし、90 点以上を A、80 点以上を B、70 点以上を C、60 点以上を D として単位を認定する。
- 60 点未満を F として単位を認定しない。採点にあたっては課題、授業姿勢、テスト・その他などの内容を考慮する。
2. 欠席時数が講義時数の 20%を超える場合は当該科目を不認定とする。
3. 教育上有益と認めたときは、以下の内容を課程の修了に必要な総授業時数の 2 分の 1 を超えない範囲で、本校の履修科目として認定する。また、本校学生が入学前に、行った以下の内容でも、同等の扱いとする。
- ①他の大学、短期大学または専門学校、その他教育機関との協議により履修した、当該大学等の授業科目。
- ②専門課程に相当する教育を行っている外国の教育施設における学習成果。
- ③認定社会通信教育、遠隔授業、技能審査、ボランティア、インターンシップ等。

第 13 条（追試験）

病気、就職選考、忌引、その他やむを得ない事由により受験しえなかった者は、試験終了後 5 日以内に事由を詳細に記し、証明資料を添えて校長あて追試験の許可を願い出ることができる。

第 14 条（追試験の実施）

学期末試験の追試験の実施は、1 学期に 1 回行う。

第 15 条（受験心得）

学期末および卒業試験受験の心得

1. 不正行為を発見した時は退場を命じ採点は 0 点とする。
2. テキスト、ノート、参考書等の持ち込みの可否は授業毎に指示する。

第 16 条（進級）

以下の各学科において、進級に必要な単位数以上を取得した者および進級に必要な時間数以上を履修した者は、1 年から 2 年に進級することができる。

学科名・コース名		進級に必要な時間数
情報システム学科		800 時間以上
建築・デザイン学科		800 時間以上
Web クリエイター学科		800 時間以上
ホテル・ブライダル学科		800 時間以上
医療事務学科		800 時間以上
インターナショナルビジネス学科		800 時間以上
情報ビジネス学科		800 時間以上
日本語学科	2 年課程	800 時間以上
	1 年半課程	400 時間以上

第 17 条（卒業）

G P A（評定平均値）2.0 以上で、卒業に必要な時間数以上を履修した者および卒業必修科目を認定されている者は卒業することができる。

（但し、G P A 算出方法は、第 12 条 A = 4、B = 3、C = 2、D = 1、F = 0 とし、この数字に科目の単位数を乗じたものを合計して総単位数で除したものとする。）

学科名		卒業に必要な時間数
情報システム学科		1710 時間以上
建築・デザイン学科		1700 時間以上
Web クリエイター学科		1700 時間以上
ホテル・ブライダル学科		1710 時間以上
医療事務学科		1710 時間以上
診療情報管理士研究科		840 時間以上
インターナショナルビジネス学科		1725 時間以上
情報ビジネス学科		1710 時間以上
公務員学科		1080 時間以上
日本語学科	1 年半課程	1200 時間以上
	2 年課程	1600 時間以上

第 18 条（留年）

進級または卒業できないものは留年とする。留年となった者は、進級、卒業に必要な不足単位について再履修するものとする。

第 19 条（卒業証書の授与・称号の授与）

1. 本校所定の課程を修了したと認められる者に対し卒業証書を授与する。
2. 以下の学科を卒業した者には専門士の称号を授与する。

課 程 名	学 科 名
工業専門課程	情報システム学科 建築・デザイン学科
商業実務専門課程	Web クリエイター学科 ホテル・ブライダル学科 医療事務学科 インターナショナルビジネス学科 情報ビジネス学科

第 5 章 入学・休学および退学

第 20 条（入学資格）

本校の入学試験受験資格は次のとおりとする。

1. 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは通常の課程による 12 年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）又は文部科学大臣の定めるところにより、これと同等以上の学力があると認められた者とする。
2. 日本語学科においては、上記第 1 項に加えて日本語の学習経験がある者とする。

第 21 条（出願手続）

入学志願者は所定の願書および必要書類に受験料 20,000 円を添えて出願手続をしなければならない。

第 22 条（入学者の選考）

前条の出願手続きを終了した入学志願者については、本校募集要項の定めるところにより、入学選考を行う。

第 23 条（入学許可ならびに手続）

1. 入学選考合格者は、所定の期日までに保証人を定め、別表 3-1 の当該学科の学費を納入して入学手続を完了しなければならない。

学費とは、入学金・授業料・施設設備費・演習充実費とする。但し、日本語学科においては、入学金・授業料とする。

日本語学科においては、学費と併せ、諸経費を納入しなければならない。

2. 4月入学生においては、入学年度の前年度3月31日までに入学を辞退した場合は、納入された学費のうち、入学金以外を返金する。日本語学科1年半課程の10月入学生においては、入学年度の9月30日までに入学辞退の場合は、入学金以外を返金する。
3. 保証人は、本人の在学中の学費、生活、勉強、素行のすべてに責任を負うものとし、本人の保護者またはそれに代わるべき人でなければならない。
4. 保証人が死亡または前項の要件を欠いたときは直ちに保証人の変更を届けなければならない。

第24条（休学）

1. 学生が病気その他、本校が認めるやむをえない事情のため、前期又は後期の全期間にわたり修学することができないときはこれを証明する書類を添えて保証人連署の上、休学届を提出しなければならない。但し、休学期間は原則として連続2年を超えることはできない。
2. 休学者は、休学した学期の試験を受けることはできない。
3. 休学中の「学期」の学費（入学金を除く）については納付を免除する。但し、既に納付済の場合は返還しない。
4. 休学者が復学を希望する場合は復学届を提出しなければならない。復学する場合は原級に復するものとし、当該「学期」の学費（入学金を除く）を納付しなければならない。

第25条（退学・転科・転学）

1. 退学しようとする場合は、保証人連署の上、退学届を提出し、許可を受けなければならない。
2. 退学した者で、3年以内に再入学を願い出た者に対しては、在学時の成績を考慮し、審査を経てこれを許可することがある。
この場合、退学以前の在学期間および修得科目は所定の在学年限および修得科目にそれぞれ算入する。
3. 本校の学生が学内の転科を希望するときは、審査を経てこれを許可することがある。
4. 他の大学、短期大学、専門学校から本校に転入学を希望する者があるときは、選考の上これを認めることがある。
既修得単位の認定は、学則第12条第3項に基づくものとする。
5. 本校から他の専門学校へ転学しようとする者は、校長の許可を受けなければならない。

第26条（除籍）

学生が次の各号に該当する場合は除籍される。

1. 病気その他の理由で学業の継続が不可能と認められたとき。
2. 延納・分納の届けが無く、学費を納入しないとき。
3. 学生が死亡したとき。

第6章 教 職 員

第27条（教職員）

1. 本校には次の教職員を置く。

校長

専任教員

講師

事務職員

教務職員

校医

校務員

2. 教員の定員、資格は専修学校設置基準による。
3. 校長は校務を総括し、所属教職員を監督する。
4. 校長を除く教職員は校務を分担する。

第7章 学 費 等

第28条（学費）

本校の受験料は入学願書提出時に納付する。また、学費は別表（3-1）のとおりとする。

第29条（学費の納入）

1. 学費は所定の期日までに納入しなければならない。
2. 学費を所定の期日までに納入できないやむをえない事情があるときは、延納・分納を認めることがある。
3. 既に納入された学費は、第23条第2項に該当する場合以外は返金しない。ただし、明らかに重複または超過納入になった場合やその他校長が必要と認めた場合にはこの限りではない。

第8章 聴講生および外国人留学生

第30条（聴講生）

1. 本校専門課程の学科目の聴講を希望する者に対しては、収容人員に余裕がある場合に限り、聴講生として聴講を許可する。また、必要と認めたときは、その履修科目に対して単位を与えることができる。
2. 聴講生料は別表（3-2）のとおりとする。
3. 学則第20条の入学資格を有する外国人で、留学を希望する者は、選考の上受け入れることがある。

第9章 懲 戒

第31条（懲戒）

次の各号の1に該当する学生に対しては、学校長がこれを懲戒する。

1. 性行不良で改悛の見込みがないと認められる者
2. 修学努力が著しく不足していると認められる者
3. 正当な理由なくして出席が常でない者
4. 学内の秩序を乱しその他学生としての本分に反した者

第32条（懲戒の種別）

懲戒はその行為の軽重に従い、訓戒、停学および退学の3種類とする。

第10章 奨 学 生

第33条（奨学生）

本校学生で、学業、人物、健康とも優れた者を奨学生として援助する。

第11章 健 康 診 断

第34条（健康診断）

本校学生に年1回健康診断を実施する。

第12章 附 帯 教 育

第35条（附帯教育）

必要がある時は、国際交流、生涯学習教育等の附帯教育を行う。また、附帯教育の科目、単位及び受講料は別に定める。

附 則

この学則は、平成8年4月1日より施行する。

附 則

1. この学則は、平成9年4月1日から施行する。但し、第19条及び第28条の改正規定は、富山県知事への届出が受理された日（平成9年3月21日届出受理）から施行する。
2. 第19条の改正規定の施行の際、現に国際マーケティング学科及び経営学科に籍を有する学生については、改正後の第19条にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 10 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 11 年 3 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 12 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条、第 19 条改訂規定の施行の際は、平成 12 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 13 年 4 月 1 日から施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 13 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 14 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 14 年 3 月 15 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 15 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 15 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

附 則

この学則は、平成 15 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 16 年 3 月 13 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条改定規定の施行に関しては、平成 17 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の例による。

また、第 29 条改定規定の施行に関しては、平成 16 年 10 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 17 年 3 月 14 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 18 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・27 条改定規定の施行に関しては、平成 18 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 19 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 10 条・第 16 条・第 17 条・第 27 条改定規定の施行に関しては、平成 19 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

また、第 3 条、第 8 条、第 9 条に関しては、学則受理の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 20 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日（平成 19 年 10 月 22 日）より施行する。

附 則

この学則は、平成 21 年 4 月 1 日より施行する。但し、第 5 条・第 6 条・第 16 条・第 17 条・第 19 条改定規定の施行に関しては、平成 21 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 22 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 10 条、第 16 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

附 則

この学則は、平成 23 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 10 条改定規定の施行に関しては、平成 23 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附則

この学則は、平成 24 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 7 条、第 8 条、第 16 条及び第 17 条の改定規定の施行に関しては、平成 24 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 25 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 17 条、第 19 条、第 20 条、第 22 条、第 25 条、第 27 条、第 28 条の改定規定の施行に関しては、平成 25 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 6 条、第 11 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 26 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、の改定規定の施行に関しては、平成 28 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日より施行する。

附 則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 16 条、第 17 条の改定規程の施行に関しては、平成 30 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、平成 31 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、平成 31 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 12 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 25 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 2 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 19 条の施行に関しては、学則届出の日より施行する。

第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 23 条、第 28 条の改定規程の施行に関しては、令和 3 年 4 月 1 日以降に入学する学生について適用し、同年 3 月 31 日現在在籍する学生については、なお従前の学則による。

附 則

この学則は、令和 4 年 4 月 1 日より施行する。

但し、第 5 条、第 10 条、第 16 条、第 17 条、第 19 条、第 23 条、第 28 条の改定規程の施行に関して

は、令和４年４月１日以降に入学する学生について適用し、同年３月３１日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

附 則

この学則は、令和５年４月１日より施行する。

但し、第５条、第１０条、第１６条、第１７条、第１９条、第２３条、第２８条の改定規程の施行に関しては、令和５年４月１日以降に入学する学生について適用し、同年３月３１日現在在籍する学生については、なお従前の学則による

別表（1）

建 学 の 精 神

1 質実明朗

1 知行合一

別表2－1

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）																
令和5年度 工業専門課程（情報システム学科）																
		科目区分①	科目区分②	年次	学期	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
						必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	プログラミング専攻 ロボット・IoT専攻 クラウド専攻	コンピュータ知識	1	前期	○			コンピュータ概論ⅠA	コンピュータの構造・原理・周辺機器の理解・コンピュータシステムに関する基礎知識の理解・ネットワークシステム・データベースシステムに関する基礎知識を理解する。	30	2	○				
			1	前期	○			システム開発と情報化ⅠA	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ストラテジ分野の知識を中心に学ぶ。	30	2	○				
			1	後期	○			コンピュータ概論ⅠB	コンピュータの構造・原理・周辺機器の理解・コンピュータシステムに関する基礎知識の理解・ネットワークシステム・データベースシステムに関する基礎知識を理解する。	30	2	○				
			1	後期	○			システム開発と情報化ⅠB	要求仕様に沿ったコンピュータシステムを開発するための基本的知識を修得することを目標とする。また後半では、主に情報処理技術者試験のマネジメント・ストラテジ分野の知識を中心に学ぶ。	60	4	○				
			1	前期	○			アルゴリズムとデータ構造ⅠA	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	30	2	○				
			1	後期	○			アルゴリズムとデータ構造ⅠB	論理的な思考の訓練を行う。プログラミング基礎であるアルゴリズムを理解することで論理的思考の訓練を行うとともに問題解決の手順を理解し、情報処理技術者試験の基礎知識を学ぶ。	30	2	○				
			情報処理技術者試験資格取得	1	前期		○		情報処理演習ⅠA	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	30	1		○		
				1	後期		○		情報処理演習ⅠB	国家試験の情報技術者試験の合格を目指す。午前・午後問題の分野別の講義と模擬問題を実際に行い、解答、解説を行う。試験に対する傾向と対策を行う。	60	2		○		
			プログラミング言語習得	1	前期		○		Java基礎ⅠA	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	120	4		○		
				1	後期		○		Java基礎ⅠB	現在、開発言語の主流となったJava言語の特徴と、適用業務を理解し、Javaプログラム演習を通して学習する。	90	3		○		
				1	後期			○	Web演習ⅠA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
				2	前期			○	Web演習ⅡA	XHTMLとスタイルシート、JavaScriptを使ったWebページ作りを実際にテキストエディタでタグを記述しながら学びます。	30	1		○		
			ネットワーク設定基礎技術習得	2	前期		○		ネットワーク演習ⅡA	一般的に会社で利用されているWindowsネットワーク基礎知識に関して、実習を通して学習する。	30	1		○		
				2	後期		○		ネットワーク演習ⅡB	前期に学んだWindowsネットワーク基礎知識を基に、WindowsOS上でのWebサーバやEメールサーバなどの仕組みを実習を通して学習する	60	2		○		
			セキュリティ対策基礎技術習得	2	前期		○		情報セキュリティ基礎ⅡA	計算機ネットワークを含めた計算機利用の安全性に関する授業。	30	2	○			
			開発業務実践	2	前期		○		技術発表演習ⅡA	様々なビジネスシーンで必要なパソコンを利用したプレゼンテーションの技法を学ぶ。	30	1		○		
			総合演習	1	通年		○		総合演習ⅠA	校外研修や校内での企業連携授業などの学科活動を実施し、今後の就職への意識の向上や業界理解を促進する。また、校外研修における実践的なビジネスマナーを学ぶ。	60	2		○		
				2	通年		○		総合演習ⅡA	地域連携等の学外での学生が主体的に行う活動を通して、学修成果を表現する。	30	1		○		
				1	後期		○		インターンシップⅠA	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。	45	1			○	
				2	後期		○		異文化理解ⅡA	文化や価値観の違う多様化社会に対応していくため、ITを利用した課題解決を留学生と交流しながら身につけていく。	30	1		○		
			プログラミング専攻		1	後期		○		プログラム開発技法ⅠA	システム開発に必要なJava言語の活用方法を習得する。	30	1		○	
					2	前期		○		Java応用ⅡA	Java基礎で学んだ知識を使って、実践的なシステム開発を行うための演習を行う。	60	2		○	
					2	前期		○		プログラム開発技法ⅡA	統合開発環境を利用して、SQL Serverを使用したデータベースのシステムを構築し、データベースシステム開発手法を学習します。	60	2		○	
					2	前期		○		システム開発技法ⅡA	ウォーターフォール型のシステム開発手順における外部設計・内部設計の基本知識から実践まで、課題を通して理解を深める。	60	2		○	
		2			後期		○		システムPBLⅡA	システム開発をグループで行う。	120	4		○		
		2			後期		○		システムPBLⅡB	システム開発をグループで行う。	120	4		○		
		2			後期		○		システムPBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○		
		ロボット・IoT専攻		1	後期		○		ロボット・IoT基礎ⅠA	ロボットにおけるセンサー、サーボモーターの制御を習得する。IoT関連の知識と活用法を身に付ける。	30	1		○		
				2	前期		○		Python基礎ⅡA	制御系開発言語の主流となったPython言語の特徴を理解し、Pythonプログラム演習を通して学習する。	60	2		○		
				2	前期		○		IoT基礎演習ⅡA	IoTに必要なセンサー、マイコン及び通信を使用するための知識と実際の使用方法を習得する。	60	2		○		
				2	前期		○		IoT応用演習ⅡA	現場で実際にセンサーを取り付け、データ収集からデータ分析までの一連の作業を行うことによりIoT実践能力を習得する。	60	2		○		
				2	後期		○		ロボット・IoT-PBLⅡA	ロボット・IoTを活用した、システム開発をグループで行う。	120	4		○		
				2	後期		○		ロボット・IoT-PBLⅡB	ロボット・IoTを活用した、システム開発をグループで行う。	120	4		○		
				2	後期		○		ロボット・IoT-PBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○		
		クラウド専攻		1	後期		○		クラウド基礎演習ⅠA	クラウド利用に必要な知識と活用方法を習得する。	30	1		○		
				2	前期		○		クラウド応用演習ⅡA	クラウド上での様々なアーキテクチャの構築を様々なケーススタディやラボ演習を通して習得する。	120	4		○		
				2	前期		○		クラウドシステム開発ⅡA	クラウド上に要求に応じたシステム構築を通して、クラウドの実践力を習得する。	60	2		○		
				2	後期		○		クラウドPBLⅡA	クラウドシステム開発をグループで行う。	120	4		○		
				2	後期		○		クラウドPBLⅡB	クラウドシステム開発をグループで行う。	120	4		○		
				2	後期		○		クラウドPBLⅡC	工程管理と成果発表に向けてテスト・資料製作・発表を行う。	30	1		○		
		ゲームクリエイター専攻		1	前期		○		C#演習ⅠA	C#を用いてコードを書き、基本制御構造、メソッド、クラス、スコープを理解するために訓練します。	150	5		○		
				1	後期		○		C#演習ⅠB	C#においてオブジェクト指向プログラミングについて、掘り下げて学習します。また、オブジェクト指向プログラミングで簡単なゲームを制作します。	120	4		○		
				2	前期		○		ゲームJavaⅡA	Javaによるアプレット用ゲームスケルトンとアプレット用ゲームライブラリを提供します。ゲームスケルトンにはアプレットに必要な基礎項目がすべて盛り込まれています。ゲームライブラリを使用して、ゲーム制作に必要なJavaのクラスやメソッドを学習します。	30	1		○		
				2	後期		○		ゲームJavaⅡB	Java言語の応用課題として、スマートフォンやタブレットでのゲーム制作方法を学習します。	30	1		○		
				1	前期		○		UnityⅠA	Unityの基本操作とC#の基礎を学習します。主にC#のプログラミングの学習に重点を置き、簡単なゲームプログラミングまでの技術の修得を目指します。	120	4		○		
				1	後期		○		UnityⅠB	Unityを用いてゲーム制作を学習します。簡単な3Dゲーム制作に取り組みます。	180	6		○		
				1	後期		○		作品制作ⅠA	Unityで学んだことを生かし、各自1作品以上のオリジナルゲーム制作を行います。	30	1		○		
				1	後期		○		ゲームプログラミングⅠA	ゲームエンジンを使用せずに、プログラミングを用いてのゲーム制作理論を学びます	60	2		○		
				2	前期		○		ゲームプログラミングⅡA	ゲームエンジンを使用せずに、プログラミングを用いてのゲーム制作理論を学びます	120	4		○		
				2	後期		○		ゲームプログラミングⅡB	ゲームエンジンを使用せずに、プログラミングを用いてのゲーム制作理論を学びます	60	2		○		
				1	前期		○		ゲームプランニングⅠA	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。そして、チームにてオリジナルゲームの企画、仕様書作成を行います。	30	1		○		

			1	後期	○	ゲームプランニングⅠB	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。そして、チームにてオリジナルゲームの企画、仕様書作成を行います。	30	1		○		
			2	前期	○	ゲームプランニングⅡA	ゲーム制作に必要な企画、仕様書について学習します。そして、チームにてオリジナルゲームの企画、仕様書作成を行います。	30	1		○		
			1	前期	○	CGⅠA	2D ゲームに必要なグラフィック素材を制作しながら、グラフィックツールの操作方法を学習します。また、学生各自が制作するゲームの素材を制作します。	30	1		○		
			1	後期	○	CGⅠB	3D ゲームのグラフィックの制作法を学習し、プログラミングの授業で使われるオブジェクトの作成を行います。それとともに、ゲーム会社で働く際にプログラマーとしても必要なグラフィックの知識、ゲームを制作してゆく上でのデザイナーとの連携のしかたなども学びます。	30	1		○		
			2	前期		○ コンピュータ基礎ⅡA	情報処理技術者能力認定試験 3 級の試験対策を行います。また、コンピュータ全般（ハードウェア、ソフトウェア）の知識修得も行います。	30	2	○			
			2	前期	○	オンラインゲーム制作ⅡA	オンラインゲーム制作にについて、その理論や構築方法を学ぶ	60	2		○		
			2	後期	○	オンラインゲーム制作ⅡB	オンラインゲーム制作にについて、その理論や構築方法を学ぶ	30	1		○		
			2	前期	○	サウンドⅡA	ゲームのBGMや効果音の制作をおこないます	60	2		○		
			2	前期		○ インターンシップⅡA	企業に体験実習で実践的な技術や就業に必要なコミュニケーションを身につける。	45	1			○	
			2	後期	○	総合演習ⅡA	地域連携等の学外での学生が主体的に行う活動を通して、学修成果を表現する。	30	1		○		
			2	後期	○	卒業制作ⅡA	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○		
			2	後期	○	卒業制作ⅡB	地域連携事業を加味し、チームでオリジナルゲーム制作を目的とします。様々なプログラムごとに作業を分担し制作します。一月毎に進捗状況をクラス内で確認し、最終的に作成したゲームを卒業制作発表会にて発表します。	90	3		○		
			専門共通	1	前期	○	データベース演習ⅠA	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	30	1		○	
				1	後期	○	データベース演習ⅠB	オープンソースデータベースを題材に、データベースの基本知識及び使用方法の習得を目的とする。	60	2		○	
				2	前期	○	サーバプログラミングⅡA	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバサイド技術を習得する。	30	1		○	
				2	後期	○	サーバプログラミングⅡB	オープンソースソフトウェアを利用した、サーバサイド技術を習得する。	30	1		○	
一般			1			○ 表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○		
			1	前期		○ 就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		
			1	後期		○ 就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		
			2	前期		○ 就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		
			2	後期		○ 就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○		
			1	前期		○ データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識、技能と観点を演習によって身につけ、データメーカーとしての基礎的な素養を学ぶ。	30	1		○		
			1	後期		○ データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識、技能と観点を演習によって身につけ、データメーカーとしての基礎的な素養を学ぶ。	30	1		○		
合計			74 科目					< 削除 >					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 1710授業時間以上取得 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること ・「合計74科目」はすべての専攻の合計 ・専攻別： プログラミング専攻 : 38科目 1725授業時間 ロボット・IoT専攻 : 38科目 1725授業時間 クラウド専攻 : 37科目 1725授業時間 ゲームクリエイター専攻 : 34科目 1845授業時間	1 学年の学期区分		2 期
	1 学期の授業期間		15 週

				令和5年度 工業専門課程（建築・デザイン学科）										
				分類			授業科目名	授業科目概要	授業 時数	単 位 数	授業方法			
科目区分①	科目区分②	年次	学期	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
建築士専攻 建築CAD専攻共通	建築計画の知識	1	前期		○	建築計画ⅠA	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	60	4	○				
		1	後期		○	建築計画ⅠB	建築計画の基本となる住宅について学ぶ。また建築を設計するうえで基本となるスケール感覚を身につけ、人間が生活する空間を学ぶ。	30	2	○				
		2	前期		○	建築計画ⅡA	公共機関のうち教育施設（幼稚園、小中学校等）や外部空間、自然環境と建築の関係等を学ぶ	30	2	○				
		2	後期		○	建築士対策ⅡA（計画）	1級建築士の学科試験Ⅰ（計画）対策	30	1		○			
		建築環境設備の知識	2	前期		○	建築環境工学ⅡA	建築環境工学の基礎的な知識として、熱、光、空気、音の分野について学習し、知識の習得を行う	30	2	○			
			2	前期		○	建築設備ⅡA	建築現場において使用される設備機器について基本的な内容を学ぶ	30	2	○			
			2	後期		○	建築士対策ⅡA（環境設備）	1級建築士の学科試験Ⅱ（環境設備）対策	60	2		○		
		建築法規の知識	1	前期		○	建築法規ⅠA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○			
			1	後期		○	建築法規ⅠB	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○			
			2	前期		○	建築法規ⅡA	建築物の設計、施工に必要不可欠である建築基準法と関係法令について条文の主旨、内容の理解を図る	30	2	○			
			2	後期		○	建築士対策ⅡA（法規）	1級建築士の学科試験Ⅲ（法規）対策	30	1		○		
		建築構造の知識	1	前期		○	建築構造力学ⅠA	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○			
			1	後期		○	建築構造力学ⅠB	「建築力学の基礎概念である力・力のモーメント」「力のつり合いなどの静力学の基礎」について学ぶ	30	2	○			
			1	前期		○	建築一般構造ⅠA	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○			
			1	後期		○	建築一般構造ⅠB	建築構造は、建物の成り立ちであり、建築物の各部と全体が、どのような材料を用いて、どのように形造られているか学ぶ。	30	2	○			
			1	前期		○	建築材料ⅠA	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料（鋼材）の性質について学ぶ	30	2	○			
			1	後期		○	建築材料ⅠB	建築材料のうち、構造材料である木材、コンクリート材料、金属材料（鋼材）の性質について学ぶ	30	2	○			
			2	前期		○	建築構造力学ⅡA	「静定構造物の応力の求め方」「トラス構造の解析方法」について学ぶ	30	2	○			
			2	後期		○	建築士対策ⅡA（構造）	1級建築士の学科試験Ⅳ（構造）対策	30	1		○		
		建築施工の知識	1	前期		○	建築施工ⅠA	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○			
			1	後期		○	建築施工ⅠB	建築施工の位置づけと建築生産の基本理念を理解する。建築工事を構成する各工種について、その内容と全体の施工計画について概要を理解する	30	2	○			
			2	後期		○	建築士対策ⅡA（施工）	1級建築士の学科試験Ⅴ（施工）対策	30	1		○		
		建築設計製図の知識	1	前期		○	建築設計製図ⅠA	製図道具の使い方、線の書き方を習得し、木造建築の一般図の種類と表現方法・内容理解を目指す。	60	4	○			
			1	後期		○	建築設計製図ⅠB	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	4	○			
			2	前期		○	建築設計製図ⅡA	配置図、平面図、断面図、立面図、矩計図の描き方を習得し、各自で条件にあったフリープランを作成する	60	2		○		
			2	後期		○	建築士対策ⅡA（製図）	1級建築士の製図課題レベルのエスキース・製図能力の習得	60	2		○		
		プレゼンテーション力の習得	1	前期		○	Photoshop・illustratorⅠA	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○		
			1	後期		○	Photoshop・illustratorⅠB	Photoshopとillustratorの基本操作を修得し、Photoshop、illustratorを使用して作品を製作する	30	1		○		
		CADの知識習得	1	前期	○		JWCADⅠA	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○		
			1	後期	○		JWCADⅠB	建築設計の基本的な考え方について学ぶ。JWCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○		
		建築士専攻科目	デッサン力の習得	1	前期		○	建築図学ⅠA	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
				1	後期		○	建築図学ⅠB	自分の意図した空間・形態を的確に表現する。手法を実際の建築物と参照しながら習得する。	30	1		○	
			卒業成果のプレゼンテーション	2	前期		○	専攻ゼミⅡA	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	
				2	後期		○	専攻ゼミⅡB	計画、設計、作品作りをゼミ形式にて実施する。本校における学びの集大成としてその成果をまとめる。	60	2		○	
		建築CAD専攻科目	3DCADの習得	1	後期		○	BIMⅠA	BIMについての理解と関係ソフトの基礎的知識及び操作技術の向上を図る	30	1		○	
				1	前期		○	3DCADⅠA	建築設計や建築生産に必要な三次元図面の制作技術を通して、多角的な設計技術などを学ぶ	30	1		○	
	卒業成果のプレゼンテーション		2	前期		○	BIMⅡA	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○		
			2	後期		○	BIMⅡB	BIM手法を駆使し、作品制作や競技設計へ挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○		
	専門		1	前期		○	測量に関する法規・国際条約ⅠA	「測量法」「測量法施行令」「測量法施行規則」に関する知識、基本測量、公共測量、基本測量及び公共測量以外の測量について学ぶ	30	2	○			
			1	前期		○	測量に関する数学ⅠA	関数とグラフ、指数と対数、三角関数、ベクトル、微分法、積分法、行列について学ぶ	30	2	○			
			1	前期		○	測量学概論ⅠA	測量・地図発達の歴史、わが国の測量体系、測量の基準、楕円体測地学の基礎、地球の物理と測量及び最新の測量技術を学ぶ	30	2	○			
			1	前期		○	三角測量ⅠA	測定器械、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角、距離の測定、平面直角座標計算、測量の成果について学ぶ	30	2	○			

空間情報専攻			1	前期	○	水準測量ⅠA	水準測量の概要および作業計画・準備、測定機器、観測、誤差、計算と成果表等の整理、作業管理について学ぶ	30	2	○					
			1	前期	○	地形測量ⅠA	一般理論、細部図根点測量、細部測量、測量原図の調整、数値地形測量等について学ぶ	30	2	○					
			1	前期	○	地図編集ⅠA	地図の分類、地図投影法、地形図読図、基図、編集における取舍選択、総描、転写、GISの概念等について学ぶ	30	2	○					
			1	後期	○	測量に関する情報処理ⅠA	コンピュータシステム、ソフトウェア・ハードウェアの基礎、測量計算・地図情報処理などコンピュータによる解析作業を学ぶ	30	2	○					
			1	後期	○	多角測量ⅠA	測定器械(トータルステーション及び汎地球測位航法衛星システム(GNSS)を含む)、選点、造標、埋標、水平角・鉛直角・天文方位角の観測、距離の測定、平面直角座標計算、三角・多角網平均計算(観測方程式法を含む)、測量の成果表について学ぶ	30	2	○					
			1	後期	○	汎地球測位システム測量ⅠA	衛星測位システムの概念、GNSS測量の観測方式、観測法と解析方法について修得する。	30	2	○					
			1	後期	○	写真測量ⅠA	一般理論、航空カメラ、図化機、標定点測量、空中写真測量、リモートセンシング、数値図化等について学ぶ	30	2	○					
			1	後期	○	応用測量ⅠA	路線測量計画概論、中心線測量、曲線設置、現況測量、用地測量、縦横断測量、工事測量土量計算、河川測量計画概論、距離標の測量、河川縦横断測量、深淺測量、汀線測量、流速流量の測定等について学ぶ	30	2	○					
			1	後期	○	地理情報システムⅠA	インターネット活用手段、属性データ作成のエクセル利用、GISソフトの操作方法とおよび利用する地図データについて投影法や座標系を理解させる。総合演習でGISソフトを使いこなす技術を修得する	30	2	○					
			1	前期	○	土木一般ⅠA	施工計画のための調査と環境アセスメント、設計と積算、施工と施工管理、品質管理、資材管理、労務管理など、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2	○					
			1	前期	○	専門土木ⅠA	安全管理、工程管理、土工機械、掘削施工、運搬施工、盛土と締固め、基礎工、擁壁、トンネル、を内容とする講義により、土木施工に関する実践的技術を修得する。	30	2	○					
			1	前期	○	土木施工法規ⅠA	建設業に関する「労働基準法」「労働安全衛生法」「建設業法」を軸に、土木施工管理技士に関する土木法規を学ぶ	30	2	○					
			1	前期	○	共通工学ⅠA	契約・設計・電気・測量においての基礎的な知識を学ぶ	30	2	○					
			1	前期	○	施工管理法ⅠA	工程管理」「安全管理」「品質管理」「原価管理」などの各種工事と材料、構造等を通して「施工管理」のポイントを学ぶ	30	2	○					
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(法規・国際条約)	測量士試験に向けて法規・国際条約についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(多角測量)	測量士試験に向けて多角測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(GNSS測量)	測量士試験に向けてGNSS測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(水準測量)	測量士試験に向けて水準測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(地形測量)	測量士試験に向けて地形測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(写真測量)	測量士試験に向けて写真測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(地図編集)	測量士試験に向けて地図編集についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(応用測量)	測量士試験に向けて応用測量についての対策を行う	30	1		○				
			2	前期	○	測量士試験対策ⅡA(地理情報システム)	測量士試験に向けて地理情報システムについての対策を行う	30	1		○				
			2	後期	○	測量士試験対策ⅡA(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○				
			2	後期	○	測量士試験対策ⅡB(総合)	測量士試験に向けて総合的な対策を行う	60	2		○				
			2	前期	○	卒業制作ⅡA	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	60	2		○				
			2	後期	○	卒業制作ⅡB	作品制作に挑戦することで技術の向上を図る	120	4		○				
			1	前期	○	AutoCADⅡA	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○				
			1	後期	○	AutoCADⅡB	AutoCADの基本操作・各種設定・作図技術・印刷方法の習得	60	2		○				
			1	後期	○	土木施工対策ⅠA(土木工学等)	土木施工管理技士試験に向けて土木工学等の対策を行う	30	1		○				
			1	後期	○	土木施工対策ⅠA(施工管理法)	測量士試験に向けて施工管理法についての対策を行う	30	1		○				
			1	後期	○	土木施工対策ⅠA(法規)	測量士試験に向けて土木法規についての対策を行う	30	1		○				
			3専攻共通	実務研修による 現場能力の習得		1	後期	○	インターンシップⅠA	机上で学んだことを現場で実践する	45	1			○
						2	後期	○	インターンシップⅡA	机上で学んだことを現場で実践する	45	1			○
				測量士の知識		1	前期		○ 測量士ⅠA	測量士試験を学習する	60	2		○	
						1	後期		○ 測量士ⅠB	測量士試験を学習する	60	2		○	
						2	前期		○ 測量士ⅡA	測量士試験を学習する	60	2		○	
						2	後期		○ 測量士ⅡB	測量士試験を学習する	60	2		○	
				地域連携による 課題解決力習得		1	前期	○	課題解決学習ⅠA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○	
						1	後期	○	課題解決学習ⅠB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○	
						2	前期	○	課題解決学習ⅡA	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○	
						2	後期	○	課題解決学習ⅡB	地域の関係企業と連携し建築・測量現場における課題調査、研究、提案を行う	30	1		○	
一般			1	前期		○ 表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○				
			1	前期		○ 就職支援ⅠA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○				
			1	後期		○ 就職支援ⅠB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○				
			2	前期		○ 就職支援ⅡA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○				
			2	後期		○ 就職支援ⅡB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○				
			1	前期		○ データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データメーカーとしての基礎的素養を深める。	30	1		○				
			1	後期		○ データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身に付け、データメーカーとしての基礎的素養を深める。	30	1		○				
合計							91科目								

卒業要件及び履修方法		授業期間等		
卒業要件：1700授業時間以上 GPA2.0以上 必修科目及び選択必修科目を取得していること ※空間情報専攻は卒業要件を満たすため建築士専攻及び建築CAD専攻の授業を受けられるものとする。 ・専攻別：建築士専攻 47科目 1740授業時間、建築CAD専攻 47科目 1740授業時間、空間情報専攻 49科目 1740授業時間	1 学年の学期区分	2		期
	1 学期の授業期間	15		週
	建築士専攻	1980		
	建築CAD専攻	1980		
	空間情報専攻	1980		

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和 5年度 商業実務専門課程（Webクリエイター学科）														
科目区分①	科目区分②	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時間数	単位数	授業方法		
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実技・実習・
専門	Webクリエイター専攻	IT活用の知識とビジネススキル	1	前期	専門	○		ITメディア概論ⅠA	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティ・IT最新技術といった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	60	4	○		
			1	後期	専門	○		ITメディア概論ⅠB	IT技術・IT管理・ネットワーク・データ分析・セキュリティといった実務に必要な知識を学ぶ。ITパスポート試験の取得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門	○		プレゼンテーションⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
		表現知識	1	前期	専門	○		カラーコーディネートⅠA	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
			1	後期	専門	○		カラーコーディネートⅠB	色彩理論の基本を学び、デザインに必要な色彩の考え方や発想を身につける。	60	2		○	
			2	前期	専門	○		Webデザイン技術ⅡA	Webを表現手段とするための知識と技術を学び、実践する。	60	2		○	
			1	前期	専門	○		デザイン概論ⅠA	ビジュアルコミュニケーションに必要とされるデザインの基礎を学ぶ。それを元にWEBデザイン・コンテンツデザイン・グラフィックデザイン・映像デザインのクオリティ向上につなげる。	30	1		○	
		制作能力	1	前期	専門	○		コンテンツデザインⅠA	デザイン専用ソフトウェアの環境設定と操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像の作成方法と取り扱い方法を学ぶ。	60	2		○	
			1	後期	専門	○		コンテンツデザインⅠB	デザイン専用ソフトウェアの環境設定と操作方法を学び、仕事で扱う様々な画像の作成方法と取り扱い方法を学ぶ。	90	3		○	
			2	前期	専門	○		グラフィックデザインⅡA	デザインソフトウェアを使い、ベーシックデザイン、ビジネスデザインについて学び、制作活動をおこないコンテストに応募する。	60	2		○	
			2	後期	専門	○		グラフィックデザインⅡB	デザイン技術の実践と、学びを可視化しそれを伝えるために卒業成果作品を制作する。	60	2		○	
			1	前期	専門	○		Web演習ⅠA	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○	
			1	後期	専門	○		Web演習ⅠB	HTML、CSSに関する基本的な知識を学び、様々なモバイルに対応するWeb作成スキルを身につける	60	2		○	
			2	前期	専門	○		Web演習ⅡA	各種ビジネスを想定したWebサイト、モバイルサイト作成を行う。	60	2		○	
			2	後期	専門	○		Web演習ⅡB	卒業制作活動のため、自分が受注した案件であるビジネスコンテンツとしてのモバイルサイト作成をおこなう。	60	2		○	
			1	前期	専門	○		ムービー制作ⅠA	様々な機器による撮影と編集技術を学ぶ。	60	2		○	
			1	後期	専門	○		ムービー制作ⅠB	撮影と編集技術の実践活動として、コンテスト応募と学年課題制作をおこなう。	60	2		○	
			2	前期	専門	○		ネットムービー演習ⅡA	目的に合わせた映像を作成し、有効利用する技術を学ぶ。	60	2		○	
			2	後期	専門	○		ネットムービー演習ⅡB	活用メディアの特性や目的に合わせた映像の作成と発信を学び、コ力的なコンテンツを制作する手法を身につける。	60	2		○	
			1	後期	専門	○		IPデザイン実践ⅠA	ポートフォリオ作成のため、企画制作をおこなう。 1年次の学年成果物を完成させる。	30	1		○	
		ネットビジネス実践	2	前期	専門	○		ECビジネス演習ⅡA	Webメディアを利用したEC活動の実践を通して、実施に伴う手続きを理解し関係法令等を学ぶ。また運用における企画戦略手法や分析力を磨く	30	1		○	
			2	後期	専門	○		ECビジネス演習ⅡB	Webメディアを利用したEC活動の実践を通して、実施に伴う手続きを理解し関係法令等を学ぶ。また運用における企画戦略手法や分析力を磨く	30	1		○	
			2	前期	専門	○		プランニングⅡA	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2		○	
			2	後期	専門	○		プランニングⅡB	企業や団体等と連携し、質向上や課題解決するための活動をおこなう。これを通して効果的なプレゼンテーションや情報発信、レビューと報告について現場で学ぶ。	60	2		○	
		制作実践	1	前期	専門	○		プランニングⅠA	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	30	1		○	
			1	後期	専門	○		プランニングⅠB	地域の課題解決やイメージ向上をテーマとし、専門分野知識やスキルを活かした実践活動を行う。活動を通してチーム活動のやり方やスケジュール管理、報告手法などビジネスの基本を身につける。	60	2		○	
			2	前期	専門	○		総合演習ⅡA	コンテンツ制作手法と表現方法、活用事例を学び、それらを効果的卒業制作に生かす手順について研究する。	60	2		○	
			2	後期	専門	○		総合演習ⅡB	企業活動に要求される顧客やビジネスパートナーとの関係やその利益を生み出す仕組みについて、具体的に検討し、卒業制作活動の実践を通して、それについての回答を導き出す。	60	2		○	
一般	職業人スキルインターンシップ		1	後期	一般	○		インターンシップⅠA	授業での学びを活かし、ビジネス現場での業務体験を行う。	45	1			○
			1	前期	一般		○	就職支援ⅠA	「何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。 「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
			1	後期	一般		○	就職支援ⅠB	「何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。 「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
			2	前期	一般		○	就職支援ⅡA	「何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。 「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
			2	後期	一般		○	就職支援ⅡB	「何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。 「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	2	○		
			1	前期	一般		○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
			1	後期	一般		○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○	
			1	前期	一般		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
			合計						36 科目		1785 単位時間		(67 (単位)	

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件 1700単位時間以上 GPA2.0以上 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

		令和5年度 商業実務専門課程 （ホテル・ブライダル学科）													
				分類			授 業 科 目 名	授 業 科 目 概 要	授 業 時 数	単 位 数	授業方法				
科目区分①	科目区分②	年次	学期	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技		
専門	ホテルマンとして必要な知識と技術を習得する	1	前期	○			ホテル概論ⅠA	ホテルに関する基本的知識を習得し、体系的にホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		1	後期	○			ホテル概論ⅠB	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		2	前期	○			ホテル概論ⅡA	ホテルに関する応用的知識を習得し、経営の立場からホテルを理解することを目的とする	30	2	○				
		1	前期	○			FB実務ⅠA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		1	後期	○			FB実務ⅠB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		2	前期	○			FB実務ⅡA	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		2	後期			○	FB実務ⅡB	レストラン運営を中心に地域の食材を使用したメニュー開発や調理・サービス方法、実務を学びます	60	2		○			
		1	前期	○			ブライダル総論ⅠA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○				
		1	後期	○			ブライダル総論ⅠB	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○				
		2	前期	○			ブライダル総論ⅡA	婚礼の流れや理由等を一連の作業を通して学び、実際に活用できることを目的とする	60	4	○				
		インバウンド対応のできる英語力を習得する	1	前期	○			ホテル実用英語ⅠA	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○		
			1	後期	○			ホテル実用英語ⅠB	ホテル業で多用される会話表現と専門用語を学ぶ	30	1		○		
			2	後期			○	オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマで、データ活用をした課題解決学習を実践・発表する（英語使用）	30	1		○		
			1	前期			○	TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○		
			1	後期			○	TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○		
			2	前期			○	TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア600点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1		○		
			1	前期			○	TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○		
			1	後期			○	TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○		
			2	前期			○	TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1		○		
			1	前期	○			EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○		
	1		後期	○			EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○			
	2		前期	○			EIC L&SⅡA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2		○			
	ホテル・ブライダル専攻	1	前期	○			サービス接遇ⅠA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○			
		1	後期	○			サービス接遇ⅠB	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○			
		2	前期	○			サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○			
		2	後期			○	サービス接遇ⅡA	お客様へのサービスの基本的テクニックや傾聴姿勢を習得する	30	1		○			
		2	前期			○	フラワーアレンジメントⅡA	婚礼に必要な知識としてブライダルブーケの基本的テクニックを習得する	30	1		○			
		1	前期			○	ブライダルビューティⅠA	婚礼に必要な知識としてブライダルヘアーの基本的知識を習得する	30	1		○			
		1	後期			○	ブライダルビューティⅠB	婚礼に必要な知識としてブライダルメイクの基本的知識を習得する	30	1		○			
		1	後期	○			ホテルブライダルマーケティングⅠB	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○			
		2	前期	○			ホテルブライダルマーケティングⅡA	新たな観光プランを創出することを目的とする	30	1		○			
		2	後期			○	ホテルブライダルマーケティングⅡB	新たな観光プランを創出することを目的とする	60	2		○			
		1	前期			○	色彩ⅠA	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
		1	後期			○	色彩ⅠB	色がもたらす影響や力、そして活用術を学び、実践できることを目指す	30	1		○			
		1	前期	○			ウエディングスビューティフルⅠA	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	30	1		○			
		1	後期	○			ウエディングスビューティフルⅠB	世界の婚礼の歴史から現代の婚礼まで、幅広い視点から婚礼演出を学ぶ	60	2		○			
		現場力・実践力を身に付ける	2	後期		○		インターンシップ（海外）ⅡB	海外にて実践的な英語の活用とマーケティング、イノベーションについて学ぶことを目的とする	450	10			○	
			2	後期		○		インターンシップ（国内）ⅡB	授業で学んだホテル・ブライダルの知識を現場で実践躬行することを目的とする	180	4			○	
				2	後期			○	ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
				2	前期			○	ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1		○	
				1	前期			○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○	
				1	前期	○			就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何かが必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職支援や実習を必要に応じて考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何かが必要か」等、	30	1		○	
		1	後期	○			就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何かが必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職支援や実習を必要に応じて考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何かが必要か」等、	30	1		○			
		2	前期	○			就職支援ⅡA	キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職支援や実習を必要に応じて考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何かが必要か」等、	30	1		○			
		1	前期			○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○			
		1	後期			○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1		○			
合計								50 科目	2310 単位時間	79	単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1710単位時間以上 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること 以下、必要に応じて詳細説明を記入する。 フィールドとユニットにより3フィールドに分けている。 それぞれの時数は以下。 ホテル：1710時間 留学：1770時間 ブライダル：1710時間		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)															
科目区分①		科目区分②	年次	学期	科目区分	令和5年度 商業実務専門課程 (医療事務学科)			授業科目名	授業科目概要	授業時数	授業方法			
						必修	選択必修	自由選択				単位数	講義	演習	実験・実習・実技
専門	専門共通	マナー、接遇能力	1	前期	専門	○			秘書実務基礎ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	60	2		○	
			1	後期	専門	○			秘書実務応用ⅠA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えを学ぶ	30	1		○	
			1	後期	専門	○			総合演習ⅠA	地域連携を通して医療現場の課題、今後の対応について学ぶ	90	2			○
			2	前期	専門	○			秘書実務ⅡA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○	
			2	後期	専門	○			ペン習字ⅡA	患者様対応で必要不可欠なより美しい文字を書くための方法を学ぶ	30	1		○	
			2	後期	専門	○			卒業研究ⅡA	これまで学んだ内容や医療分野に関する課題を研究し、発表する	30	1		○	
		PCスキル	1	前期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠA	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
			1	後期	専門	○			ビジネスIT技術ⅠB	各職種において文書を作成するスキルは、必須である。本科目では、一般的ワープロソフトである「WORD」を使用し、様々な文書を速く正確に作成するスキルを学ぶ。	30	1		○	
			2	前期	専門	○			ICT演習ⅡA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
			2	後期	専門	○			ICT演習ⅡB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○	
			2	前期	専門	○			ICT活用ⅡA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。またVRを使用した次世代型プレゼンテーション方法についても学ぶ。	30	1		○	
	医療事務専攻	医科	1	前期	専門		○		医療保険制度ⅠA	医療保険制度について学ぶ	60	2		○	
			1	前期	専門		○		診療報酬請求(医科)ⅠA	医療現場での請求事務の流れや意義などについて学ぶ	120	4		○	
		調剤	1	後期	専門		○		診療報酬請求(調剤)ⅠA	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	90	3		○	
		医学知識	1	後期	専門		○		医療情報学ⅠA	診療記録の電子化について学び、ITを活用した医療情報システムの現状を学ぶ	15	1	○		
			2	前期	専門		○		医療管理総論ⅡA	医療制度の成り立ちと医療関連法規や医療提供システムを学ぶ	15	1	○		
			2	後期	専門		○		診療情報管理論ⅡA	診療録(カルテ)の記載項目の理解と管理体制の仕組みを学ぶ	60	2		○	
			2	後期	専門		○		人体構造・機能論ⅡA	解剖学・組織学といった人体の基本的仕組みを系統的学ぶ	15	1	○		
			2	後期	専門		○		臨床医学総論ⅡA	病気の原因・病態・診断・治療・予防・予後について人体の仕組みから学ぶ	15	1	○		
			2	後期	専門		○		医学用語ⅡA	診療録(カルテ)に記載される用語を学ぶ	15	1	○		
			2	前期	専門		○		医療概論ⅡA	医療と医学の歴史や社会的役割を総合的に学ぶ	15	1	○		
			2	後期	専門		○		臨床医学各論ⅡA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	30	2	○		
			2	後期	専門		○		臨床医学各論ⅡB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○		
		2	後期	専門		○		医療統計学ⅡA	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	15	1	○			
		医事PC	1	後期	専門		○		医事コンピュータⅠA	診療請求書を実際に作成する時に使用する医療事務コンピュータの操作方法を学ぶ	120	4		○	
		実務研修	1	前期	専門		○		実習指導ⅠA	医療機関実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	30	1		○	
			1	後期	専門		○		医療機関実習ⅠA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○
			2	前期	専門		○		医療機関実習ⅡA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○
			2	後期	専門		○		総合病院研究ⅡA	総合病院のシステムや業務内容を見学したことを分析し、発表する	45	1			○
		歯科	2	前期	専門		○		診療報酬請求(歯科)ⅡA	歯科医療事務の基本的知識と一般的な点数算定の原理原則を学ぶ	120	4		○	
		介護	2	後期	専門		○		診療報酬請求(介護)ⅡA	介護報酬請求事務の仕組みを学び、高齢者サービスの実情を学ぶ	90	3		○	
		ドクターズクラーク	2	後期	専門		○		ドクターズクラークⅡA	医師補助としてのカルテ入力方法とポイントを学ぶ	90	3		○	
	医薬品登録販売者専攻	医薬品知識	1	前期	専門		○		医薬品基礎ⅠA	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	90	3		○	
			1	後期	専門		○		医薬品応用ⅠA	医薬品の本質(食品との違いを含む)について学ぶ	60	2		○	
			1	前期	専門		○		薬学知識ⅠA	薬学知識の基礎と医療用語、病名等について学ぶ	30	2	○		
			1	後期	専門		○		薬学試験対策ⅠA	薬学検定3級に向けての試験対策を行う	30	2	○		
2			前期	専門		○		解剖・薬理学ⅡA	人体の基本的な成り立ちと疾病、病態について学ぶ	30	2	○			
2			前期	専門		○		医薬品安全対策ⅡA	医薬品の安全対策や副作用について学ぶ	30	2	○			
国家試験対策		2	前期	専門		○		国家試験対策ⅡA	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○		
		2	前期	専門		○		国家試験対策ⅡB	医薬品登録販売者試験に向けての対策を行う	90	3		○		

		調剤	2	後期	専門		○	診療報酬請求（調剤）Ⅱ A	医師の処方に基づいて行われる調剤の仕組みを学ぶ	90	3		○	
		販売スキル	2	後期	専門		○	P O P 制作Ⅱ A	見やすいPOP広告を作成する技術を身に付ける	30	1		○	
		実務研修	1	前期	専門		○	実習指導Ⅰ A	店舗実習に出る前の心構えと基本的実習の流れを学ぶ	30	2	○		
			1	後期	専門		○	店舗実習Ⅰ A	机上で学んだことを現場にて実践する	360	8			○
2	後期		専門		○	店舗実習Ⅱ A	机上で学んだことを現場にて実践する	360	8			○		
		1	前期	一般			○ 表現力Ⅰ A	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1			○	
		1	前期	一般			○ 就職支援Ⅰ A	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1			○	
		1	後期	一般			○ 就職支援Ⅰ B	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1			○	
		2	前期	一般			○ 就職支援Ⅱ A	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1			○	
		2	後期	一般			○ 就職支援Ⅱ B	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1			○	
		1	前期	一般			○ データマーケティングⅠ A	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1			○	
		1	後期	一般			○ データマーケティングⅠ B	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータ の取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	30	1			○	
合計						52 科目			<削除>					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1710授業時間以上 GPA 2.0以上 必修科目、選択必修科目を取得していること 「合計52科目」は全ての専攻の合計 専攻別： 医療事務専攻：39科目 1770授業時間 医薬品登録販売者専攻:30科目 1950授業時間		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

					令和5年度 商業実務専門課程 （診療情報管理士研究科）											
					分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法				
科目区分①		科目区分②	学期	科目区分	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技		
専門	診療情報管理士研究科	基礎医学	前期	専門	○			臨床医学各論ⅢA	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○				
			後期	専門	○			臨床医学各論ⅢB	原因別、部位別等に分類されている各疾病の特徴や症状、治療法を学ぶ	45	3	○				
			後期	専門			○	試験対策演習ⅢA	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○			
			後期	専門			○	試験対策演習ⅢB	診療情報管理士の試験合格に向けて演習問題等取り組む	90	3		○			
			前期	専門	○			基礎医学対策ⅢA	基礎医学の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○			
		専門医学	前期	専門	○			医療管理各論ⅢA	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○				
			前期	専門	○			医療管理各論ⅢB	病院経営に重要な診療情報の活用に関するしくみを学ぶ	30	2	○				
			前期	専門	○			医療統計学Ⅲ A	診療情報を管理・分析し、病院経営に役立てる様々な統計方法を学ぶ	30	1		○			
			後期	専門	○			専門分野対策ⅢA	専門分野の復習と試験に向けての対策を行う	60	2		○			
		コーディングスキル	前期	専門	○			分類法ⅢA	ICD－10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	60	2		○			
			後期	専門	○			分類法ⅢB	ICD－10の各章に沿った分類と使用方法について学ぶ	30	1		○			
			前期	専門	○			国際疾病分類概論ⅢA	国際疾病分類（ICD）の概要やその意義などについて学ぶ	30	1		○			
			前期	専門	○			DPC演習Ⅲ A	DPCの概要やその使用方法について学ぶ	30	1		○			
		接遇・マナー	前期	専門			○	秘書実務ⅢA	社会人として必要なビジネスマナーや心構えのより高度な考え方を学ぶ	30	1		○			
		実務研修	前期	専門	○			病院実習ⅢA	机上で学んだことを医療機関にて実践する	45	1			○		
			後期	専門	○			病院実習Ⅲ B	机上で学んだことを医療機関にて実践する	90	2			○		
			後期	専門	○			総合病院研究ⅢA	最先端の病院を見学し、研究・発表することにより診療情報管理のしくみや病院経営などについて学ぶ	45	1			○		
		PCスキル	前期	一般			○	ICT演習Ⅲ A	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1		○			
		一般			前期	一般			○	就職支援ⅢA	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
					後期	一般			○	就職支援ⅢB	就職対策や早期退職防止の為にSPIや職業観について学ぶ	30	1		○	
					合計				20 科目		<削除>					

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：840授業時間以上 GPA 2.0以上 必修科目を取得していること 診療情報管理士研究専攻：20科目 930授業時間		1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

		令和５年度 商業実務専門課程（インターナショナルビジネス学科）														
		分類					授業科目名		授業科目概要		授業時数	単位数	授業方法			
科目区分①	科目区分②	年次	学期	科目区分	必修	選択必修							自由選択	講義	演習	実験・実習・実技
専門	インターナショナルビジネス専攻	日本語能力	1	前期	専門	○		JLPTⅠA	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJCTテストを活用し常にレベルを確認する。Advancedクラス目標：JLPTⅠN1、Bridgeクラス目標：JLPTⅠN2	60	2		○			
			1	後期	専門	○		JLPTⅠB	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60%（合格圏）まで引き上げる。Advancedクラス目標：JLPTⅠN1、Bridgeクラス目標：JLPTⅠN2	60	2		○			
			2	前期	専門	○		JLPTⅡA	レベル別にクラス分けし、文章で漢字語彙を増やすユニット学習をアプリ活用の反転学習手法でレベルアップを図る。毎回のテストと定期的なPJCTテストを活用し常にレベルを確認する。Advancedクラス目標：JLPTⅠN1、Bridgeクラス目標：JLPTⅠN2	60	2		○			
			2	後期	専門	○		JLPTⅡB	レベル別にクラス分けし、文法のトレーニングをアプリ活用の反転学習手法で学習する。それと平行して読解・聴解の具体的な解法を学ぶことで得点率を60%（合格圏）まで引き上げる。Advancedクラス目標：JLPTⅠN1、Bridgeクラス目標：JLPTⅠN2	60	2		○			
		ビジネス日本語	1	前期	専門	○		ビジネス日本語ⅠA	ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解を深め、読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく演習しながら、ビジネス日本語の基礎力構築を図る。	60	4	○				
			1	後期	専門	○		ビジネス日本語ⅠB	ⅠAで学んだビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をさらに深め、日本語運用能力（4技能）の充実を図るとともに、模擬試験問題や演習問題を通して次年度のビジネス能力検定受験に向けての準備を進める。	60	4	○				
		ビジネス英会話	1	前期	専門		○	ビジネス英会話ⅠA	期首ブレスメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ポキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation（発表）を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力（聴解・読解）を養成する。期中と期末にAchievement Test による Performance測定を行う。	60	2		○			
			1	後期	専門		○	ビジネス英会話ⅠB	期首ブレスメント・テストによる2レベル編成とし、聴解・読解・ポキャビル・文法を中心とした演習およびRecitation（発表）を通して、英語によるコミュニケーションの基礎力（聴解・読解）の充実をはかる。基礎クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge120点、TOEIC310点。応用クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge150点、TOEIC470点。	60	2		○			
			2	前期	専門		○	ビジネス英会話ⅡA	期首ブレスメント・テストによる2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習を通して、英語によるコミュニケーションの応用力（聴解・読解・発表）を養成する。期中と期末にAchievement Test による Performance測定を行う。	60	2		○			
			2	後期	専門		○	ビジネス英会話ⅡB	個々の学生に合わせて、以下の2レベル編成とし、模擬試験問題の徹底演習と Presentation を通して、英語によるコミュニケーション応用力（聴解・読解・発表）の充実をはかる。基礎クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge140点、TOEIC400点。応用クラス期末目標（L/R）：TOEIC Bridge170点、TOEIC700点。	60	2		○			
		ビジネス日本語	2	前期	専門	○		ビジネス日本語ⅡA	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固なものとするとともに、日本語運用能力（4技能）の充実をはかり、ビジネス能力検定の7月受験（3級）の準備を進める。	60	4	○				
			2	後期	専門	○		ビジネス日本語ⅡB	音読とシャドーイングの徹底訓練により、ビジネス・リタラシーの基本についての知識・理解をより強固・確実なものとするとともに、日本語運用能力（4技能）のさらなる充実をはかり、ビジネス能力検定の12月受験（3級・2級）の準備を進める。	60	4	○				
		日本語能力	1	前期	専門			○	日本語演習ⅠA	日本語コミュニケーションの実際の場面を想定した場面シラバスを中心に、様々な場面での日本語使用に対応できる力をつけるためのトレーニングを行う。	30	1		○		
			2	前期	専門			○	日本語演習ⅡA	ビジュアセッションやインタビュータスクを通して実際に日本人とのコミュニケーションを図るトレーニングを行い、あらゆる場面に対応できる日本語力を養う。	30	1		○		
		マーケティング	2	前期	専門	○		リテールマーケティング（販売士）ⅡA	接客に関する基礎知識、取扱商品に関する専門知識、売場や店舗を管理する能力、経済の動き全体からみた店舗経営等について、講義と用語を押さえた問題や確認テストを通し理解を深める。	60	4	○				
			2	後期	専門	○		リテールマーケティング（販売士）ⅡB	接客に関する基礎知識、取扱商品に関する専門知識、売場や店舗を管理する能力、経済の動き全体からみた店舗経営等について、講義と用語を押さえた問題や確認テストを通し、より実践的な知識と理解を深める。	60	4	○				
			2	前期	専門	○		リテールマーケティング（販売士）演習ⅡA	リテールマーケティング（販売士）検定3級合格のため、テキストを用いた試験問題の徹底演習や予習問題の解説を行い、より実践的な知識と理解を深める。定期的に確認テストを行うことで、理解度を認識する。	30	1		○			
			2	後期	専門	○		リテールマーケティング（販売士）演習ⅡB	繰り返しテキストの問題や過去問題を行い、正答率とスピードを上げる。用語の確認や予習問題の解説を通して、リテールマーケティング（販売士）検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○			
			1	前期	専門			○	マーケティング概論ⅠA	市場調査や商品開発などマーケティングに関する基本的な考え方や知識を習得する。ケース・スタディの活用や、基礎用語の確認テストを行うことで、より理解を深めマーケティングに対する関心を高める。	30	2	○			
			1	後期	専門			○	マーケティング概論ⅠB	実際のビジネスケースを使用し、簡単なレポート課題やクイズを行うことで、マーケティング理論の実践方法・活用方法などを学ぶ。また、授業は講義形式ではあるが、グループワークを取り入れ、課題の分析や解決方法の理解を深める。	30	2	○			
		サービス接遇	1	前期	専門	○		サービス接遇ⅠA	ペアやグループによるワーク演習を繰り返し交ぜながら、サービス接遇についての基本的理解を深め、基本的なサービスで求められる知識を習得し理解を深める。	60	2		○			
			1	後期	専門	○		サービス接遇ⅠB	プレゼンテーションを重視した演習を繰り返し交ぜながら、サービス接遇の実践的実務についての知識・理解を深め、サービスの現場で求められる高度な知識とスキルを習得する。	60	2		○			
		マーケティング	1	後期	専門	○		マーケティング実践演習ⅠA	ビッグデータの分析や活用方法をPOSデータやドルフィンアイなどを用いて学ぶ。	60	2		○			
			1	後期	専門	○		マーケティング実践演習ⅠB	ビッグデータを活用し、課題解決の提案を行う	60	2		○			
			2	後期	専門			○	ビジネスモデル演習ⅡA	マーケティングに関する知識を基に、社会課題解決につながる「収益を獲得できるビジネスモデル」を如何につくるのか、その基礎を学ぶ。スタートアップやソーシャルビジネスの事例を参考に戦略モデルを中心に実践的に学び、起業家の視点を持てるようにする。	30	1		○		
		インターンシップ	2	後期	専門	○		企業実習	企業での実習を通して、現場での経験値を高め、業界・企業・職種の理解を深める。	45	1			○		
		ICTスキル	1	前期	専門			○	ICT演習（文書作成）ⅠA	一般的なワープロソフトである「Word」を使用し、文字入力や基本的な文書作成を学ぶ。頻出用語の確認を通し、日本語版のWordの理解を深める。また、制限時間を設けたタイピングテストを行うことで、日本語の文字入力を素早く正確にできるレベルまで引き上げる。	30	1		○		
			1	後期	専門			○	ICT演習（文書作成）ⅠB	「Word」の応用的な操作を学ぶ。画像や図形をはじめとするグラフィック要素の使用や、複合的な操作を身につける。タイピングのテストやゲーム、様々な文書の作成を繰り返し行うことで、ワープロ検定3級に合格できるレベルまで引き上げる。	30	1		○		
			2	前期	専門			○	ICT演習（データ活用）ⅡA	企業で広く使用されている「Excel」を使用し、表の作成、データ入力、関数について学ぶ。日商PC検定の出題ポイントを押さえた演習問題や、動画を視聴して予習をする反転授業を取り入れることで、より理解度を高めるトレーニングを行う。	30	1		○		
			2	前期	専門	○		ICT活用ⅡA	VR技術を用いたプレゼンテーション技法の向上を図る。	30	1		○			
			2	後期	専門	○		ICT活用ⅡB	VR技術を用いたプレゼンテーション技法の向上を図る。	30	1		○			
			簿記会計	1	後期	専門	○		簿記・会計ⅠA	簿記を通して会計職、一般職等に必要な財務知識を習得する。	60	2		○		
		2		前期	専門	○		簿記・会計ⅡA	会計職、一般職等に必要な財務知識を習得する。問題を演習し、正答率とスピードを上げ、全経簿記3級に合格できるレベルまで引き上げる。	60	2		○			
一般		表現力	1	前期	一般		○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1		○			
		キャリア支援	1	前期	一般		○	就職支援ⅠA	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、クラスの一員としての意識を持ち、関与できるよう様々な取組みを行っていく。	30	1		○			
			1	後期	一般		○	就職支援ⅠB	将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、就職に必要な準備を段階的に進めていく。	30	1		○			
			2	前期	一般		○	就職支援ⅡA	自分自身で目標を立て、目標実現に向け取り組むことを意識していく。また、様々な活動を通し、他者と協調・協働して行動できる力を身に付ける。就職に必要な業界知識を知る。	30	1		○			
			2	後期	一般		○	就職支援ⅡB	前期に引き続き、様々な活動を通し、他者と協調・協働して行動できる力を身に付ける。就職に必要な基礎知識を再学習する。	30	1		○			
合計							38 科目	1755 授業時間		72 単位)						
卒業要件及び履修方法									授業期間等							
卒業要件：1725授業時間以上取得、GPA 2.0以上、必修科目を取得していること									1 学年の学期区分		2 期					
									1 学期の授業期間		15 週					

カリキュラム編成表(授業科目等の概要)

令和5年度 商業実務専門課程（情報ビジネス学科）																
科目区分①	科目区分②		年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
						必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門		業務効率化リテラシー	1	後期	専門			○	業務効率化リテラシーⅠA	データベースの仕組みを理解し、アクセス等の操作方法を身につける RPA等 業務効率化を推進ツールの仕組みを理解し基礎的操作スキルを身につけ、活用事例を学ぶ	30	1		○		
		デジタルマーケティング・リテラシー	2	前期	専門			○	デジタルマーケティングⅡA	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける	30	1			○	
	2		後期	専門			○	デジタルマーケティングⅡB	WEBマーケティングの知識と事例を学び、WEB解析の基本スキルを身につける	30	1			○		
		データマーケターとして必要なマーケティング知識と地域経済への理解を深める	1	前期	専門	○			マーケティングⅠA (マーケティング基礎)	マーケティングの基本的考え方と活用事例を学ぶ	30	2	○			
	1		後期	専門	○			マーケティングⅠB (WEB広告マーケティング)	WEB広告のマーケティングの運用を学び、アナリティクスツールの基本操作を習得する	30	2	○				
	2		前期	専門		○		顧客理解ⅡA	顧客理解の意義と活用事例を学ぶ	30	2	○				
	2		前期	専門	○			地域社会と経済ⅡA	地域社会リーダー・経営者から地域社会と経済を学ぶ	30	2	○				
	1		前期	専門		○		TOEIC L&RⅠA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○		
	1		後期	専門		○		TOEIC L&RⅠB	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○		
		ビジネスに必要な英語力を身につける	2	前期	専門		○		TOEIC L&RⅡA	TOEICスコア450点を目指した語彙力、リスニング力の向上	30	1			○	
	1		前期	専門		○		TOEIC S&WⅠA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1			○		
	1		後期	専門		○		TOEIC S&WⅠB	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1			○		
	2		前期	専門		○		TOEIC S&WⅡA	スピーキング・ライティングをとおしてビジネスレベルの英会話力習得を目的とする	30	1			○		
	1		前期	専門	○			EIC L&SⅠA	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2			○		
	1		後期	専門	○			EIC L&SⅠB	実践的に聞く力と話す力が向上することを目的とする	60	2			○		
	2		後期	専門	○			オンライン国際協働学習ⅡA	海外の学生と、共通のテーマでデータマーケティングを実施し、企画案をプレゼンする（英語使用）	60	2			○		
	2		前期	専門	○			リサーチ・コミュニケーションⅡA (ファシリテーション)	多様な立場からの意見を整理し、チームの合意形成を図るためのファシリテーションスキルとリーダーシップを身につける	30	1			○		
		マーケターに必要なコミュニケーションスキルを身につける	1	後期	専門	○			プレゼンテーションⅠA	パワーポイントの使い方から文章のまとめ方や訴える力など、プレゼンテーションに必要な基本的知識を身に付ける。	30	1			○	
			データビジネス職に求められる知識と技能を身につける	1	前期	専門	○			DXリテラシーⅠA	DXが必要とされる国内外の社会変化とデジタル技術やデータ活用によってめざす社会のあり方を理解する	30	2	○		
	1	前期		専門	○			デジタルビジュアライゼーションⅠA (グラレコ・コンセプト)	情報整理力・可視化力・伝達力を高めるためにグラフィック・レコーディング(概念化)を習得する	30	1			○		
	1	前期		専門	○			リサーチメソッドⅠA	定性調査基礎: アンケート調査を中心とした定性調査の設計、インタビュー分析、クロス集計分析を身につける(エクセル、SPSSを使用)	60	4	○				
	1	後期		専門	○			リサーチメソッドⅠB	定量調査基礎: 基本的統計を理解し、エクセルを使用した数量データの調査・分析(相関分析)・グラフ作成力を身につける	30	2	○				
	2	前期		専門	○			リサーチメソッドⅡA	定性調査実践: SNSやインターネット上の質的データを収集し、テキストマイニング分析とBIによる可視化手法を身につける 定量調査実践: ノーコードの統計分析ソフトSPSSを使用し、多変量データの調査・分析手法を身につける	60	4	○				
	1	前期		専門	○			ビジネス数学ⅠA	数字を通して、商取引への理解を高め、ビジネス動向を把握する力を身につける	30	1			○		
	1	後期		専門	○			ビジネス統計ⅠA	統計的視点をもってビジネスの動向を捉え、課題を発見するための基礎力を身につける	30	1			○		
	2	後期		専門	○			情報リテラシーⅡA	情報取り扱いに関わる法律や著作権の意義、仕組みを理解し、情報を扱う職業人としてのリテラシーを高める	30	2	○				
		現場力・実践力を身につける	2	前期	専門	○			卒業研究ⅡA	卒業にあたり、データマーケティングを活用した事業提案を発表する(Dream成果発表会等)	30	2	○			
	1		後期	専門	○			課題解決学習ⅠA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	90	2			○		
	2		後期	専門	○			課題解決学習ⅡA	地域課題をテーマに、リサーチし、アイデアをまとめ、ビジネスコンテスト出場を目指す	90	2			○		
	1		前期	専門	○			インターンシップⅠA	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習	30	1			○		
	1		後期	専門	○			インターンシップⅠB	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	180	4			○		
	2		前期	専門	○			インターンシップⅡA	インターンシップに向けての業界、企業研究・事前学習	30	1			○		
	2		後期	専門	○			インターンシップⅡB	ビジネス現場にて、顧客対応や販売、マーケティング、データマーケティングを学ぶ	180	4			○		
			一般	1	前期	専門	○			ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。 日常業務に必要な表計算・グラフ作成・関数の技術を身につける。	30	1			○
	1	前期		一般	○			表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1			○		
	1	前期		一般	○			就職支援ⅠA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1			○		
	1	後期		一般	○			就職支援ⅠB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1			○		
	2	前期		一般	○			就職支援ⅡA	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1			○		
	2	後期		一般	○			就職支援ⅡB	「将来の仕事や人生についてどのように考えたら良いか」「将来の目標を実現するためには何が必要か」等、キャリアを考える上でヒントや気づきを得られるよう、様々な取り組みを行う。就職に向けて、必要な準備を段階的に進めていく。	30	1			○		
	1	前期		一般	○			データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素養を深める。	60	2			○		
										40 科目		1800 単位時間	1800	66		単位)

卒業要件及び履修方法			
卒業要件: 1710単位時間 GPA2.0以上 必修科目を取得していること 選択必修科目を取得していること	1学年の学期区分	2	期
	1学期の授業期間	15	週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

科目区分①		科目区分②	年次	学期	令和5年度 公務員学科			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法				
					必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技		
専門	公務員学科	数学・数的推理	1	前期	○			数的処理ⅠA	公務員試験一般知能の数的推理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	90	6	○				
			1	前期	○			数学ⅠA	公務員試験一般知識の数学の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
		判断推理・資料解釈	1	前期	○			判断推理ⅠA	公務員試験一般知能の判断推理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	90	6	○				
			1	前期	○			資料解釈ⅠA	公務員試験一般知能の資料解釈の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	60	4	○				
		国語・文章理解	1	前期	○			文章理解ⅠA	公務員試験における文章理解はあくまでも一般的な常識性が求められるので、広い教養知識の習得を目的とする。各時間にプリント学習などを多く行うことによって、たくさんの問題に取り組ませ、学力の向上に努める。	60	4	○				
			1	前期	○			英語ⅠA	公務員試験における文章理解の英語パート対策を行う。	30	2	○				
			1	前期	○			作文ⅠA	作文試験に向けて基本問題、応用問題による受験対策を行う。	30	1		○			
		社会科学	1	前期	○			政治・経済ⅠA	公務員試験一般知識の政治の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	60	4	○				
		人文科学	1	前期	○			日本史ⅠA	公務員試験一般知識の日本史の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
			1	前期	○			世界史ⅠA	公務員試験一般知識の世界史の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
			1	前期	○			地理ⅠA	公務員試験一般知識の地理の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
			1	前期	○			倫理・社会ⅠA	公務員試験一般知識の倫理・社会の問題を解くための基礎知識を習得させる。確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
		自然科学	1	前期	○			物理ⅠA	公務員試験一般知識の地学の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
			1	前期	○			化学ⅠA	物質のミクロな段階からの成り立ちを知り、物質の利用による豊かな生活を実感するとともに環境問題をも理解する。基本問題、実践問題および模擬テストによる受験対策を行う。	30	2	○				
			1	前期	○			生物ⅠA	地球に誕生した生命は、絶滅したものや子孫を残しながら存続しているものなど様々である。生物について基礎的事項を理解する。基本問題、実践問題および模擬テストによる受験対策を行う。	30	2	○				
			1	前期	○			地学ⅠA	公務員試験一般知識の地学の問題を解くための基礎知識を習得させる。また確認テストを単元ごとに実施するなどして理解を深め、問題の解決能力を養成する。	30	2	○				
		試験対策全般	1	後期	○			試験対策演習ⅠA	公務員試験に向けて実力アップを図ることを目的とし、総復習を行う。	300	10			○		
			1	前期	○			適性試験対策演習ⅠA	適正試験に向けて基本問題、応用問題による受験対策を行う。	60	2			○		
		ビジネス基礎科目	1	後期		○			電卓ⅠA	社会人として必要な基本的な電卓スキル習得を目指す	60	2			○	
			1	後期		○			計算実務ⅠA	社会人として必要な基本的な計算スキル習得を目指す	60	2			○	
			1	後期		○			ビジネスマナーⅠA	社会人として必要な基本的漢字能力を身に付ける	60	2			○	
			1	後期		○			漢字ⅠA	現場で役立つ基本的マナーを場面別に学習する。	30	1			○	
一般	コミュニケーション・表現の基礎科目	1	前期	○			就職支援ⅠA	公務員の倫理観や就職対策の為に職業観について学ぶ	30	1			○			
		1	後期	○			就職支援ⅠB	公務員の倫理観や就職対策の為に職業観について学ぶ	30	1			○			
		1	前期			○	表現力ⅠA	コミュニケーション授業や演劇を学び、自己表現力や社会性を身に付ける	30	1			○			
	パソコン基礎科目	1	前期			○	ICT演習ⅠA	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1			○			
		1	後期			○	ICT演習ⅠB	企業において必須技能であるエクセル技術の演習を行う。日常業務に必要な表計算・グラフ作成・データベースの技術を身につける。	30	1			○			
	データマーケティング知識	1	前期			○	データマーケティングⅠA	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素	30	1			○			
		1	後期			○	データマーケティングⅠB	マーケティングの基本的な理論や手法を学び、マーケティングに関する体系的な理解を促し、マーケティングを進める上で必要なデータの取り扱いに関する知識・技能と観点を演習によって身につけ、データマーケターとしての基礎的素	30	1			○			
		合計							29科目	<削除>						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1080授業時間以上 必修科目を取得していること 公務員専攻:29科目 1470授業時間		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	15週

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和5年度 文化・教養専門課程（日本語学科1年半課程）															
科目区分①		科目区分②	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法		
						必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技
専門	日本語学科1年半課程	日本語の運用基礎能力を習得する	1	後期	専門	○			総合日本語Ⅰ A	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。 特に文法の定着を図る。	300	20	○		
		日本語の総合的な運用+F7/F16能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語Ⅱ A	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	後期	専門	○			総合日本語Ⅱ B	読む、聞く、書く、話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○		
			2	前期	専門	○			聴解Ⅱ A	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			聴解Ⅱ B	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門	○			読解Ⅱ A	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	後期	専門	○			読解Ⅱ B	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○		
			2	前期	専門			○	作文Ⅱ A	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	後期	専門			○	作文Ⅱ B	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	会話Ⅱ A	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○		
			2	後期	専門			○	会話Ⅱ B	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○		
		日本語学習サポート	1	後期	専門			○	初級作文Ⅰ A	総合日本語Ⅰ Aと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○		
			1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠ A	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○		
			2	前期	専門			○	能力試験対策Ⅱ A	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	後期	専門			○	能力試験対策Ⅱ B	能力試験対策に特化した授業	30	2	○		
			2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡ A	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○		
		基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	後期	専門			○	日本事情Ⅰ A	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○		
		生活に適應できる日本語能力を養成する	1	後期	専門			○	生活日本語Ⅰ A	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○		
		進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語Ⅱ A	・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
			2	後期	専門			○	実践日本語Ⅱ B	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○		
合計									20 科目	1260 単位時間	(84 単位)				

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件：1200時間履修 必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
	1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

カリキュラム編成表（授業科目等の概要）

令和5年度 文化・教養専門課程（日本語学科2年課程）																
科目区分①		科目区分②	年次	学期	科目区分	分類			授業科目名	授業科目概要	授業時数	単位数	授業方法			
						必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	
専門	日本語学科2年課程	日本語の運用基礎能力を習得する	1	前期	専門	○			総合日本語ⅠA	読む・聞く・書く・話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。 特に文法の定着を図る。	300	20	○			
			1	後期	専門	○			総合日本語ⅠB	読む・聞く・書く・話すの4技能をバランスよく練習し、初級の基礎力構築を図る。 特に文法の定着を図る。	300	20	○			
		日本語の総合的な運用能力を習得する	2	前期	専門	○			総合日本語ⅡA	読む・聞く・書く・話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
			2	後期	専門	○			総合日本語ⅡB	読む・聞く・書く・話すの4技能をバランスよく練習し、中級の基礎力構築を図る。	120	8	○			
			2	前期	専門	○			聴解ⅡA	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
			2	後期	専門	○			聴解ⅡB	中級聴解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験聴解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
			2	前期	専門	○			読解ⅡA	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
			2	後期	専門	○			読解ⅡB	中級読解能力を習得させ、日本語能力試験、日本留学試験読解試験での高得点獲得を目指す。	60	4	○			
			2	前期	専門			○	作文ⅡA	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
			2	後期	専門			○	作文ⅡB	中級記述能力を習得させ、日本留学試験小論文試験、大学小論文試験での高得点獲得を目指す。	30	2	○			
			2	前期	専門			○	会話ⅡA	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○			
			2	後期	専門			○	会話ⅡB	中級発話能力を習得させ、日常生活は勿論、大学・専門学校入試における面接試験で評価される会話を身に付ける	30	2	○			
		日本語学習サポート	1	前期	専門			○	初級作文ⅠA	総合日本語ⅠAと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○			
			1	後期	専門			○	初級作文ⅠB	総合日本語ⅠBと連動し、身近な話題について書く練習をして、日本語基礎能力を作り上げる	30	2	○			
			1	前期	専門			○	漢字トレーニングⅠA	基礎漢字600字をマスターする。	30	2	○			
			1	後期	専門			○	漢字トレーニングⅠB	基礎漢字1000字をマスターする。	30	2	○			
			2	前期	専門			○	能力試験対策ⅡA	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
			2	後期	専門			○	能力試験対策ⅡB	能力試験対策に特化した授業	30	2	○			
			2	前期	専門			○	漢字トレーニングⅡA	中級漢字1500字をマスターする。	30	2	○			
		基礎教養科目の基礎力・応用力を養成する	1	前期	専門			○	日本事情ⅠA	日本社会を生きる上での基礎的教養を身につけると同時に、総合科目の基礎力をつける。	30	2	○			
		生活に適應できる日本語能力を養成する	1	前期	専門			○	生活日本語ⅠA	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○			
			1	後期	専門			○	生活日本語ⅠB	・日本での生活に必要な最低限の日本語を身につける ・地域に関心を持ち、地域連携活動に参加することで、コミュニケーション基礎力をつける。	60	4	○			
		進学するための情報収集と未来設計を日本語を使って行う	2	前期	専門			○	実践日本語ⅡA	・進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○			
			2	後期	専門			○	実践日本語ⅡB	進学に必要な文書の読解と文書作成のスキルを習得する。 ・地域活動を通して、フィールドワークに必要な総合的なコミュニケーション能力を身につける。	60	4	○			
						合計				24 科目	1680 単位時間	(112 単位)				

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1600時間履修	必修科目を取得していること	1 学年の学期区分	2 期
		1 学期の授業期間	15 週

■ 1 学年

	情報システム学科		Webクリエイター学科		ホテル・ブライダル学科		医療事務学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000

	診療情報管理士研究科		インターナショナルビジネス 学科		建築・デザイン学科		公務員学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金	200,000		200,000		200,000		200,000	
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000	295,000
施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
演習充実費	110,000	110,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
合 計	665,000	465,000	615,000	415,000	615,000	415,000	615,000	415,000

	情報ビジネス学科	
	前期	後期
入学金	200,000	
授業料	295,000	295,000
施設設備費	60,000	60,000
演習充実費	60,000	60,000
合 計	615,000	415,000

■ 2 学年

[illegible]

	インターナショナルビジネス 学科		建築・デザイン学科		情報ビジネス学科	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
入学金						
授業料	295,000	295,000	295,000	295,000	<u>295,000</u>	<u>295,000</u>
施設設備費	60,000	60,000	60,000	60,000	<u>60,000</u>	<u>60,000</u>
演習充実費	110,000	110,000	110,000	110,000	<u>110,000</u>	<u>110,000</u>
合 計	465,000	465,000	465,000	465,000	<u>465,000</u>	<u>465,000</u>

★日本語学科 1学年

	1 年半課程		2 年課程	
	前期	後期	前期	後期
入学金		200,000	200,000	
授業料		240,000	240,000	240,000
合 計		440,000	440,000	240,000

※諸経費として入学時 110,000 円、その後每期 40,000 円が必要です。

日本語学科 2学年

	1 年半課程及び 2 年課程	
	前期	後期
入学金		
授業料	240,000	240,000
合 計	240,000	240,000

※諸経費として每期 40, 000 円が必要です。